

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国		山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第25週	第26週	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	第25週	第26週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)			(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	1151 0.23	4 0.08	1 0.02		▼	3 0.15		▼	1 0.20		△				1 0.08		▽	11411
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)			(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	784 0.25	1 0.03	1 0.03			1 0.08		▽				1 0.17		△				148
咽頭結膜熱	3082 0.98	28 0.93	31 1.03		△	10 0.77	15 1.15	△				16 ◎2.67	13 ◎2.17	▼	2 0.25	3 0.38	△	369
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	10895 3.45	153 5.10	145 4.83		▼	87 ◎6.69	64 ◎4.92	▼	2 0.67	4 1.33	△	40 ◎6.67	52 ◎8.67	△	24 3.00	25 3.13	△	4497
感染性胃腸炎	21117 6.69	262 8.73	243 8.10		▼	98 7.54	89 6.85	▼	10 3.33	13 4.33	▲	90 ◎15.00	72 ◎12.00	▼	64 8.00	69 8.63	▲	4362
水痘	1320 0.42	14 0.47	20 0.67		△	3 0.23	10 0.77	△				10 1.67	5 0.83	▽	1 0.13	5 0.63	△	398
手足口病	7613 2.41	25 0.83	44 1.47		▲	13 1.00	30 2.31	▲	12 4.00	13 4.33	▲		1 0.17	△				145
伝染性紅斑	325 0.10	28 0.93	41 1.37		△	1 0.08	1 0.08		5 1.67	5 1.67		22 ◎3.67	34 ◎5.67	△		1 0.13	△	257
突発性発しん	1737 0.55	25 0.83	18 0.60		▼	9 0.69	5 0.38	▽	2 0.67	1 0.33	▽	5 0.83	6 1.00	△	9 1.13	6 0.75	▼	517
百日咳	44 0.01																	13
ヘルパンギーナ	2097 0.66	9 0.30	8 0.27		▽	3 0.23	1 0.08	▽	4 1.33	2 0.67	▽	2 0.33	5 0.83	▲				48
流行性耳下腺炎	1785 0.57	8 0.27	7 0.23		▽	2 0.15	2 0.15		1 0.33	1 0.33		5 0.83	3 0.50	▽	1 0.13	△	420	
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)			(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																	
流行性角結膜炎	530 0.77	1 0.13			▼	1 0.25		▼										44
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)			(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	90 0.19	1 0.10			▼										1 0.33		▽	74
クラミジア肺炎	9 0.02																	
マイコプラズマ肺炎	116 0.24	4 0.40	5 0.50		▲		2 0.50	△	1 1.00	1 1.00					3 1.00	2 0.67	▽	102
細菌性髄膜炎	11 0.02																	1
無菌性髄膜炎	22 0.05																	6

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者				1	
腸管出血性大腸菌感染症	患者	1				型別: O121、VT2。
	無症状病原体保有者			1		型別: O26、VT1。
E型肝炎	患者	1				
レジオネラ症	患者	1				
侵襲性インフルエンザ菌感染症	患者				1	ヒブワクチン接種歴4回有り。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	2			1	※第24週追加報告1件有り。 肺炎球菌ワクチン接種歴: 1回 1件、3回 1件、不明 1件。
梅毒	無症状病原体保有者	1				

## <通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ				1											
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
															1
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1														1
咽頭結膜熱	1	4	12	3	2	4	1	2			1	1			31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	10	18	19	20	16	12	13	6	24	4		145
感染性胃腸炎	3	31	53	37	21	23	16	18	6	10	6	15	1	3	243
水痘		2	2	2	2	3	3	1	1	2		2			20
手足口病		5	18	11	5	2	2	1							44
伝染性紅斑			1	2	7	9	7	5	3	3	2			2	41
突発性発しん	1	6	9	2											18
百日咳															
ヘルパンギーナ		1	1	2	1	1	2								8
流行性耳下腺炎			1		1			3	2						7

< 平成29年5月 月報 >

2017年6月21日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～5月
	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 19	18	7	3	11	10	1	3		2	86
	定点当り 1.90	1.80	1.75	0.75	11.00	10.00	0.50	1.50		0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 6	10	1	2	1	2	2	5	2	1	37
	定点当り 0.60	1.00	0.25	0.50	1.00	2.00	1.00	2.50	0.67	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数 1	2	1	1						1	5
	定点当り 0.10	0.20	0.25	0.25						0.33	
淋菌感染症	報告数 5	3	3	2			1		1	1	16
	定点当り 0.50	0.30	0.75	0.50			0.50		0.33	0.33	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 5	8	1	2			1	1	3	5	34
	定点当り 0.50	0.80	0.25	0.50			0.50	0.50	1.00	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 17	24	8	11	3		2	1	7	9	97
	定点当り 1.70	2.40	2.00	2.75	3.00		1.00	0.50	2.33	3.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数 1		1								2
	定点当り 0.10		0.25								

< トピックス >

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎情報】

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が、村山地区と置賜地区で警報レベルとなっています。

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎  
警報開始基準値：8人 警報終息基準値：4人
- ・第26週定点当たり報告数  
村山：4.9人 最上：1.3人 置賜：8.7人 庄内：3.1人

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症です。

【症状】2～5日の潜伏期の後、突然の発熱(38℃以上)、咽頭発赤、莓舌(写真1)などの症状が現れます。通常、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。治療は、抗菌剤が有効です。肺炎などの合併症を防ぐためにも、症状が改善しても医師に指示された期間、薬を飲むことが大切です。

【感染経路と予防法】この病気は、患者の咳やくしゃみのしぶきに触れること等で感染しますので、一般的な予防対策(手洗いや咳エチケット等)が大切です。また、咽頭痛がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



写真1: 典型的な莓舌  
(国立感染症研究所ホームページより)

【腸管出血性大腸菌感染症情報】

6月中に、腸管出血性大腸菌感染症が10名(患者5名、無症状病原体保有者5名)報告されています。夏季に多発する感染症ですので、食品を扱う際には十分に手洗いするとともに、食品の温度管理と十分な加熱、調理器具の消毒を心がけましょう。

1.感染者の内訳 (平成29年第1週からの合計)

①地区別

- 村山地区 : 4名
- 最上地区 : 0名
- 置賜地区 : 6名
- 庄内地区 : 3名
- 計 : 13名

②型別

O血清型	ベロ毒素型	報告数
O26	VT1	5
O103	VT1	1
O115	VT2	1
O121	VT2	1
O157	VT1VT2	4
OUT	VT2	1
合計		13

2.年間報告者数

